

# 現在建築中

2014年3月

建築中の見学歓迎です。

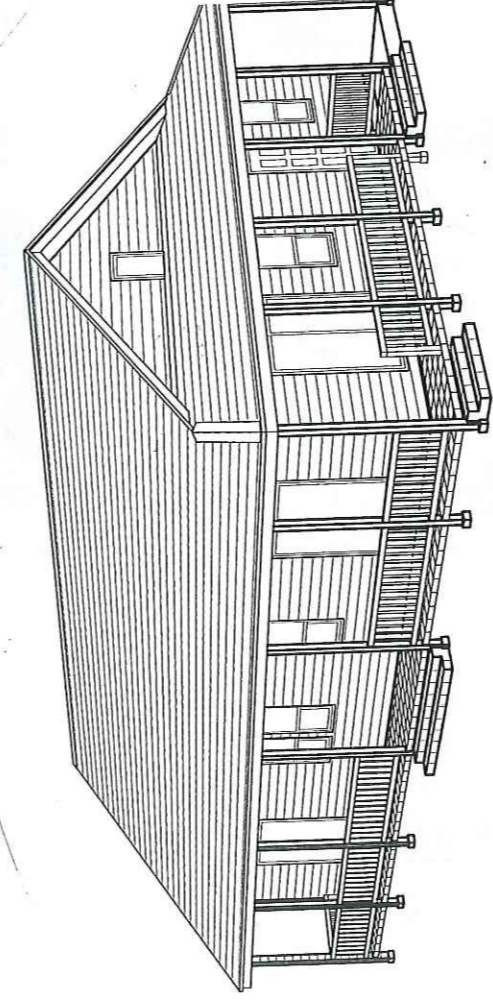
気軽に連絡ください。(リフォーム相談もOKです)  
施工は、**関東一円**行きます。

**御福台** (平屋)

ス～さん邸



**長生郡一宮町** (ロフト付)



14年前に建築しました。  
**東京** 二子玉川ス～さん邸



(有)つるおが工務店  
ホ～さん邸  
0470-68-4848  
ホ～さん邸  
ホ～さん邸

希望の家づくり

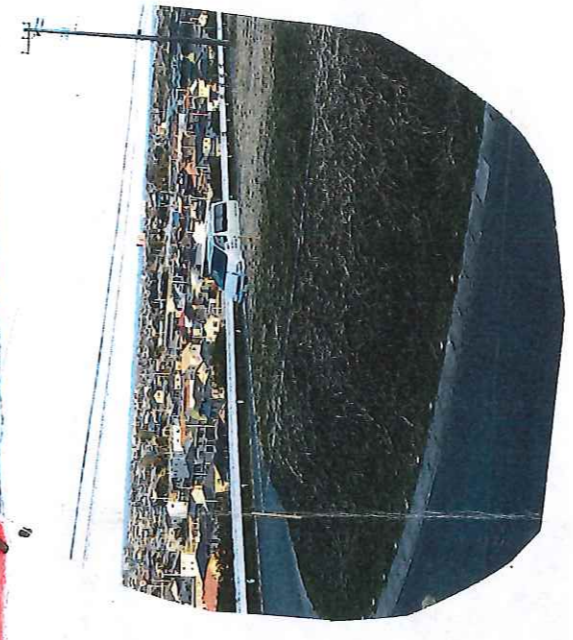
もう既に建築し右とかも連絡ください。  
(建築)

**御福台** 小春邸(平屋)



ここに建てます。

**相中町に着工予定**



14年前の床 → **フロア** 張り替え工事

3階建



2014年3月

完成しました。

(有)フネおネ工務店  
0470-68-4848  
ホムロジ メール t@daiku.co.jp

御宿台 ジョゼ邸 (ロフト付)



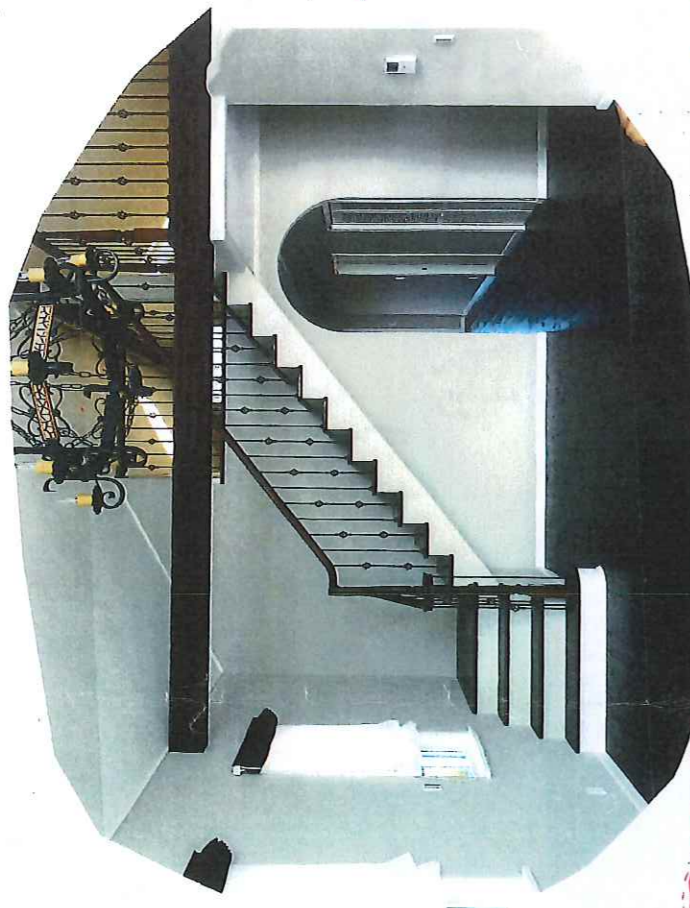
長生村 モ〜モ邸 (平屋)



いすけ市大原 セ大、カレ邸



←スペースの洗面



希望の家づくりお伝えします!



赤川市ラフォー邸

カレ邸

佳宅



# 森の緑が映える丘陵地にたたずむ 北欧スタイルの色彩豊かな住まい

つるおか工務店



「この家でナチュラルに、シンプルに暮らしたいから、床には無垢材を用い、間仕切りを設けず家全体がワンルームとなるようにとお願いしました。毎日がリゾートの気分です」と夫人。ロフトに上がる階段や手すりも木の造作（この見開きページの写真はすべてS氏邸）



窓の配置などシンメトリーをコンセプトとした設計。夫人がこだわった鮮やかな赤色の外観が、周囲の森と美しいコントラストを形成する。白いコラムや窓飾り、深緑の玄関ドアや、色が一つひとつ違うレンガなどが美しく調和している。ランドスケープが可能にした輸入住宅だ



リビングからつながるデッキは、豊かな周囲の緑に抱かれた、癒しとくつろぎの空間



大空間に架けられたロフトは吹き抜けでつながる。半円形と四角の窓が印象的

## 海外の住宅に精通 自在な外観デザイン

アメリカやスペインなど、本場の建築様式に精通し、本場のデザイン、テストの家を建てることが可能。施主が要望するどのような外観スタイルにも対応できるのは、海外の住宅の歴史や文化、伝統様式、暮らし方など、総合的に知る努力をしているから（下の写真は施工例）。



買い付けや知識を深めるため、精力的に世界を飛び回る鶴岡社長にぜひ相談を



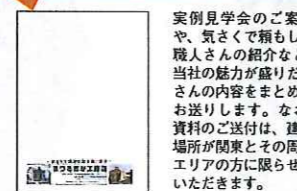
大きな勾配天井が生み出す吹き抜けがS氏邸の特色。トップライトや、四方に設けられた窓からは光と風がやさしく舞い込み、キッチンに立つと、視線の先に景色が広がる

## もっと詳しく知るにはこちら つるおか工務店

(有) つるおか工務店  
〈住所〉千葉県夷隅郡御宿町久保 2039  
(TEL) 0470-68-4848  
(URL) <http://www.daiku.co.jp>

問い合わせ先  
TEL/0470-68-4848

### この会社をもっと知りたい方へ



実例見学会のご案内や、気さくで頼もしい職人さんの紹介など、当社の魅力が盛りだくさんの内容をまとめてお送りします。なお、資料のご送付は、建築場所が関東とその周辺エリアの方に限らせていただきます。

- 価格の目安  
45万～65万円/坪  
延床面積35坪の場合
- 商品データ  
〈商品名〉フリープラン  
〈工法・構造〉2×4、2×6、木造軸組、鉄筋コンクリート、重量鉄骨、軽量鉄骨  
〈標準工期〉約4ヶ月  
〈商品の特徴〉南欧風オリジナル住宅やオーダーメイドログハウスなど多彩なデザインに対応。その他、米国のハウスメーカーと提携し、本場の素材・デザインの輸入住宅をつくり上げる
- 施工対応エリア  
関東とその周辺エリア  
※詳しくはご相談ください。
- アフター・保証  
住宅保証機構(株)による「まもりすまい保険」に加入(10年間)。完成保証制度
- 会社概要  
〈設立〉1946年6月  
〈資本金〉300万円  
〈従業員数〉4名  
〈FAX〉0470-68-5499  
〈URL〉<http://www.daiku.co.jp>  
〈E-mail〉[t@daiku.co.jp](mailto:t@daiku.co.jp)  
〈対応可能工法〉2×4、2×6、木造軸組、鉄筋コンクリート、重量鉄骨、軽量鉄骨  
〈施工実績〉13棟(2012年度)  
〈建設業許可番号〉千葉県知事許可(般-22)第34207号  
(加盟・登録)ツーバイフォー協会会員

スウェーデンのダーラナ地方は、森の緑に赤い外壁がよく映える家の特長。緑豊かな丘陵地に建つSさんのお住まいは、その絵のような住まいに憧れ続けてきた夫人の夢を実現した、深い赤色が印象的な輸入住宅だ。手がけたのは、千葉県の御宿町に拠点を置く「つるおか工務店」。同じエリアに建つ姉夫婦の家が同社の施工であったことが出会いのきっかけだった。「本場の雰囲気を感じさせる輸入住宅で、「この会社なら、私たちの思い描く住まいを建ててくれるのでは」と直感しました」と夫人。その判断が間違っていないことが、この北欧スタイルの家が物語っている。

「つるちゃん」と愛称で呼ばれる鶴岡社長は、「施主はほとんど、わがままやこだわりを言えない。それにいかに応えるかが腕の見せ所だ」を口ぐせとするカーペンターであり、センスをもつ建築家だ。「吹き抜けの大きな空間や個性的な窓のデザイン、無垢の木や自然素材、光と風を取り入れた設計、こだわりのアイテムなど、言葉にならない思いまでもカタチにしてくれました」と、夫人は赤色が鮮やかな住まいを、いつまでも愛しそうに眺めていた。

### このレポートの見どころ

- 輸入 各国で選び抜いた部材・建具でつくる本場の輸入住宅
- + 「つるちゃん」(鶴岡社長)以下スタッフの人柄が魅力
- + 海外の建築に精通し多彩なデザインを可能にする提案

大切なお客様の家なので  
一軒ずつ“自分の家なら”という  
気持ちでつくっています

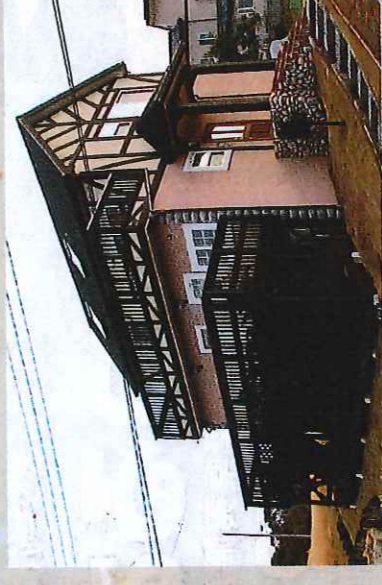


住み手の個性が感じられる家を  
一緒に作りたくらいと願っています

大切なお客様の家なので一軒ずつ“自分の家なら”という気持ちでつくっています。  
お客様のライフスタイルに合った等身大の家をつくるために、設備機器や建築材料なども一緒に勉強して、  
お互いにいい家を作ることを目指しています。当社ならではのきめ細かさが好評をいただいています。  
ぜひ、お気軽にお声をかけてください。きっと探している暮らしが見つかるはずです。

ホームページにて  
色々な情報を公開しています

<http://www.daiku.co.jp>



〈つるおか工務店 代表取締役〉

## 鶴岡敏雄さん

連載第2回目は、千葉外房・御宿で親子3代続く大工から「ツーバイフォー輸入住宅」にいち早く取り組んだ鶴岡敏雄さん。関東近県でサーファーや海を愛する施主に根強い人気のツーバイフォー輸入住宅のトップブランドを作り上げた。その歴史はもう36年になる。

① 売るときは死ぬほどまで愛するハレーンと、100キロと重いエンジン音を効かせ御宿のコーストラインをクルーズする鶴岡さん



### 輸入住宅はスポーツカーだ、数を売るなら在来工法。

「そうだ、もう一度お客さんの気持ちに戻ってみよう」  
鶴岡さんの選択は、大手住宅メーカーのフランチャイズに参加することだった。まだ日本でもフランチャイズ制度が成熟していなかったその時代、制度は穴だらけで、いい様に資金を出さされ、大きな損失を被った鶴岡さんが得たもの、それは「営業と技術」だった。それだけが彼の身体に財産として残った。  
「在来工法は一般のクルマ、輸入住宅はスポーツカーだよ、売るならフツーのクルマだろ」周囲にはそんな声しがしりだったが、おそらく鶴岡さんには確信があった。

### 外房御宿の町で 祖父から続く大工、3世代。

「家を建てる時、お客さんはまずは何をしますか？」  
鶴岡さんは突然問いかける。  
そしてゆっくりと当時を振り返るように語りはじめた。

+++++

仕事の来ない建築不況を目の当たりにして自問自答を繰り返していた鶴岡さんは、ふと立ちかえった。  
「そうだ、もう一度お客さんの気持ちに戻ってみよう」

まだインターネットが今のようには普及していなかった当時、お客さんは雑誌を手に取り、夢を膨らませながら、家族総出で風船がバブルのように浮かんだ住宅展示場に足を運んでいた。  
鶴岡敏雄さん、40歳を前にした頃、大工として出口の見えない頃でもあった。

+++++

祖父の時代から、外房御宿の街で代々大工を営んできた家業は、3代目となる。長身の身体を活かして高校ではバレーボールに専念した。千葉県でも屈指のアタッカーだったこともあり、当時日本一だった大阪商業大学の入学を決めていた。しかし、大工を継いでほしいと父の強い導きで、東京王子にある、あの田中角栄も通った中央工学校で建築、設計を学ぶ。建築学科の大学生もここで実技を

「輸入住宅でいく」  
モデルハウスも持たない零細工務店には、施工の実績がすべてだった。だから予算を度外視して石を張ったり、材料にこだわって造り込んだ。そんな利益の薄い苦しい仕事がいよいよ続くことになる。  
ところが、1999年、スペイン瓦を葺いた南欧スタイルの住宅が有名雑誌、住まいの設計「住まいる」で特集され大きな反響を得ることになった。つるおか工務店はツーバイフォー、輸入住宅の専門の工務店として大きな一歩を踏み出したのである。小さいけれどキラリと光る技術力、「ツーバイフォー輸入住宅」という宣伝文

言がどうと看板を飾った。  
シアトル、サンフランシスコで強い衝撃を受けた彼自身、その後もスタッフを伴ってヨーロッパ、特にスペイン、フランスへの旅を重ねた。  
「いくら大工の腕が良くてもだめ。写真でこうだろうなって考えてもだめ。本物を見ること」の大切さをいまでも信じている。

+++++

イギリス留学で教育を受けさせた息子さんも、ようやく大工の修行を始めた。  
父親のもとで修行をすることをこのほか嫌がった3代目だったが、親子4代の大工がようやく繋がれようとしている。じつに嬉しそうだ。  
「ラーメンが食べれば、一般食堂でなくラーメン屋さんに行くはず」という確信を持って、これからはツーバイフォー輸

② 先祖代々大工という職業のせいか徹底した現場主義。日々営業と現場を駆けまわる



習得するほどのレベルの高い専門学校だ。卒業後、世の風潮に違わず父親との小さな確執のために家業を継がずにツーバイフォーを専門とする関西系の住宅メーカーに就職。埼玉県内の住宅供給公社や、大手のハウスメーカーの建て売り住宅の建設で現場監督などを5年以上経験した。ここで、経験したツーバイフォーのノウハウや人脈が今も活かされているという。  
ほどなく資産家だった叔父に声をかけられ、地元御宿で鉄筋の住宅建設の一切を任された。その後は順調に仕事も入るようになり、独立後の事業は順風満帆のスタートだった。

しかし、いうまでもなくバブル経済の崩壊は住宅業界にも容赦なく襲いかかる。仕事を探すことの難しさを嫌というほどあじわうことになったが、気がつけば大手ハウスメーカーの住宅は比較的順調に進んでいた。件の住宅展示場が盛況の頃である。  
小さな工務店が常に抱える難題「営業」の壁にぶち当たったのである。

入住宅を貫く。強い信念の影で見え隠れする気配りと優しさ。「つるちゃん」と親しまれる愛称はその証だ。  
愛車ハレーンで御宿の海岸線をクルージングするのは、いつもの気晴らし。それは素朴な優しさの裏返しかもしれない。

③ 千葉房総は敷地面積に恵まれるためゆったりとした平屋や大きなLDKなどダイナミックな設計を実現する。御宿をはじめ勝浦、一宮等の房総、横浜、川崎などつるおかスタイルの輸入住宅は確実に人気上昇中。④ オフィスにて。背後に積まれているのは過去に資料となった雑誌の数々。実はそこに成功のカギがあるのだ

### Profile

つるおかとしお◎1957年千葉県御宿町出身。祖父からつづく大工の家に生まれる。高校時代にバレーボールで優秀な成績を残しながらも、家業に従事。ツーバイフォーの専門住宅会社に就職して現場を学び独立。かすかすの困難を乗り越えて今年で36年、ツーバイフォー輸入住宅を専門にしたハウビルダーとして千葉はもちろんのこと、横浜、埼玉など広範囲な関東近県を圏域としている。趣味はオートバイ、旅行。愛称はつるちゃん。



## つるおか工務店

地域の木工、工務店として3代、100年続く「つるおか工務店」。現社長がサラリーマン時代を経て遡ること25年以上前から採用した「ツープайフォー工法」は今や時代の主流でもあります。さらに世界各地の住宅事情を体験した実績で自社設計を主体とした「輸入住宅」と「エアサイクルの家（在来工法）」をスタンダードにしています。小さな工務店ならではの120%満足できる家づくりで大きな信頼を得ています。今号では数々の住宅実績を特集してみました。



ハワイアンスタイルを追求したサーファーズハウス。フラットハウス（平屋）という特殊な仕様も千葉ならではのおしゃれな選択

### 平屋サーファーズハウス

一宮市T邸 **1**

ハワイのノースショアをイメージして作られたサーファーズハウス。ツープайフォー工法の輸入住宅は海辺の街に良く似合います。



### 北米スタイル再現

勝浦市K邸

**2**

北米スタイルを再現したミレニア勝浦。中でももっとも環境に似合うグリーンと白を基調としたアメリカンハウスK邸。周囲を取り囲む大きなウッドデッキは50人程のパーティーも可能です。



4・壁いっぱいに配された大開口の窓からたくさんの光を取り入れられる北米スタイルのリビングダイニング 5・周囲を大きなウッドデッキが囲む。いつだってたくさんの仲間を呼べる大スペース 6・北米スタイルを再現した勝浦ミレニアにたまたむK邸。ツープайフォーと輸入住宅の真骨頂です



1・キッチンのブルーのタイルにはハワイで購入してきたお気に入りの絵柄のタイルを。さらにハワイアンを強調します  
2・エントランスは左手にボードロッカーをロングボードも余裕で収納できます  
3・深い屋根でワイドスパンの大きなテラスを確保。ハワイアンスタイルのラナイですね

